

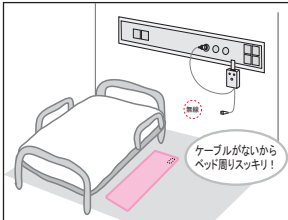
テクノス通信 VOL. 8

Jan.2010



「センサーのコードレス化が望まれるワケ！」（より安全な看護環境づくりに）

なぜコードレス化が進むの？



今、看護の現場では、離床センサーを導入して対策を行っているところが非常に多くなりました。そして、離床センサーを導入し活用頂いている病院・施設様の中には、より高い安全性を求め、センサーのコードレス化を進められているところが増えていきます。もちろん、ケーブルタイプのセンサーでは対策が不十分ということではありませんが、今、何故コードレス化が進むのか、今回は「コードレスセンサーによるワンランク上の安全対策」についてご紹介いたします。実際にケーブルタイプからコードレスタイプへ切替えられた病院・施設様のご意見ですので、既に離床センサーを導入頂いている方もそうでない方も、ぜひご参考にしてください。（*テクノスジャパンの『コードレス』は、センサーに全くケーブルがありません。）

ケーブルタイプの
離床センサーの
課題

●断線事故

患者様が足を引っ掛けてしまって…
患者様がケーブルを引っ張るので…
ケーブル部分の上をベッドや車イスが通って…

●配線整理

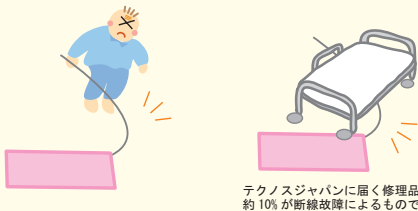
ベッド周りに線が増えて整理に困る。
センサーを移動させる度にケーブルが露出しないよう、
配線作業が必要。

など…

離床センサーコードレス化のメリット

1. 断線事故がゼロ！

- 患者様が引っ張ったり、足を引っ掛けて断線ということがありません。
- ケーブルの上をベッド等が通って断線という事態を防げます。



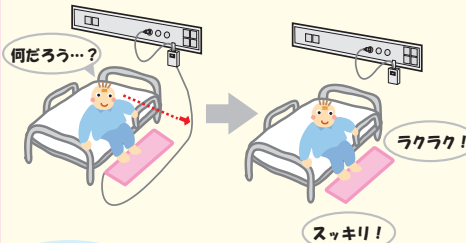
テクノスジャパンに届く修理品の約10%が断線故障によるものです。

メリット例

- センサーの故障が減るとともに、患者様が足を引っ掛けて転倒ということがありません。
- 断線事故が無くなって修理が減ることにより、修理に預けることなく、いつも現場にセンサーがある状態になります。
- 修理が減ることで無駄な出費がかかりません。

2. 気付かれない&配線が不要！

- センサーのケーブルを接続する必要がありませんので、患者様に気づかれません。
- 面倒な配線作業の手間がなくなります。

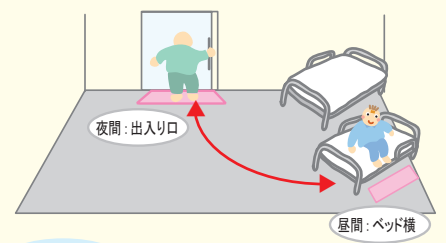


メリット例

- センサーのケーブルによって患者様がセンサーに気づき、避けてしまうことがありません。
- 増設し複数台センサーを使用する場合に、ケーブルの整理に困ることがありません。
- ケーブルの長さが足りなくて設置場所に困ることがありません。

3. 設置が簡単！

- 配線や接続の必要がないため、設置位置を変えたいと思った時すぐに、センサーを移動することができます。



メリット例

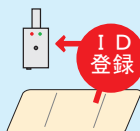
- 頻繁に変わる対象者に合わせてセンサーを移動させることができます。
- 昼はベッド横、夜は出入り口になどの、時間帯別設置場所変更も簡単です。
- 増設はセンサーを置くだけで完了します。（無線中継ボックスへの登録が必要）

より安全な看護環境へ！

当社における病院様の導入実績の約30%がコードレス製品です。

こんな便利な機能があります！

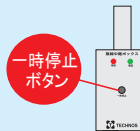
無線中継ボックスには5台までセンサーの登録が可能！



無線中継ボックスにセンサーのIDを登録することで、最大5台までセンサーを管理することができます。

1人の患者様に数台のセンサーを使用したい場合、大部屋のセンサーを1台のナースコールで管理したい場合等に有効な機能です。

一時停止ボタンでスイッチの忘れ防止！

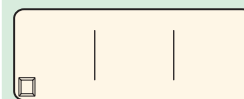


一時停止ボタンを押すと、5分間電源がオフの状態になり、5分経てば自動的に復旧しONの状態になります。

患者様の処置やベッド周りでの作業をしている間電源をOFFにし、そのままONにし忘れることを防げます。

専用受信器タイプのコードレスも登場！

精神科病棟などに『ハイパーマットシリーズ』



携帯タイプ・固定タイプ、2種類の専用受信器での報知が可能です。（通達距離：見通しで約100m）



ナースコール設備を持たない病院・施設様でも、コードレスタイプをご使用頂けます。

次回は、『テクノスジャパンのセミナー』です。お楽しみに！